

還付金サギに気をつけよう 指導案

- 1 題材 還付金サギについて
- 2 目標
 - ・詐欺に遭ったときの対処方法を身につける。
 - ・詐欺に遭わないための知識を身につける。
 - ・学んだことを家族や友人に伝える。

3 本講座の展開

過程	時間	主な学習活動	指導上の留意点
導入	5分	<ol style="list-style-type: none"> 1 “うさぎとかめ”の替え歌を歌う。 2 替え歌の歌詞にあるような経験があるかを思い出す。 3 講座の概要を確認する。 <ol style="list-style-type: none"> ① 還付金詐欺について知ろう ② 被害に遭ったときのことを考えよう ③ だまされないための対策を考えよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1人ひとりに歌詞カードを配布する。 ○ 初めに歌を歌うことで場を和ませる。 ○ 歌詞の内容から、寸劇の内容につなげる。 ○ 初めに講座全体の流れを伝えることで、見通しや意欲を持って取り組めるようにする。
展開	25分	<ol style="list-style-type: none"> 4 参加型寸劇をとおして、還付金詐欺について学び、被害に遭ったときの対処方法について考える。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 受講者代表と講師の寸劇を見る。 (2) 還付金詐欺についての説明を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> 〔 ・近年増えつつある手口の一つ ・還付金はATMでは手続きできない 〕 (3) 自分がこのような被害に遭ったらどう思う？ <ul style="list-style-type: none"> 〔 ・悲しい ・恥ずかしい ・誰にも言えない ・詐欺師への怒り 〕 (4) 本当に悪い人は誰なのか。 <ul style="list-style-type: none"> 〔 ・騙された人 ・詐欺師 〕 (5) 誰に相談するか。 <ul style="list-style-type: none"> 〔 ・家族 ・警察に話す ・消費生活センターに相談する 〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 代表者が、必ず騙されるように、話し方などを工夫する。 ○ 代表者以外の受講者には、自分にも電話がかかってきていると思って話を聞くように声掛けを行う。 ○ お金を振り込んでしまった人が家族などに責められたり、誰にも言えなかったりして、自殺をしてしまう人もいることを伝える。 ○ 詐欺師が誰よりも1番悪いことを一人ひとりに自覚させ、「騙された人は悪くない」ことをしっかり伝える。 ○ 消費者ホットラインと警察相談専用ダイヤルをしっかりと伝える。歌詞カードに書いてある電話番号を伝える。 ○ 隣の人と話し合わせて考えさせる。
まとめ	10分	<ol style="list-style-type: none"> 5 だまされないための対策を考える。 <ul style="list-style-type: none"> 〔 ・講座、テレビや新聞などを通して最近流行している詐欺を把握しておく。 <ul style="list-style-type: none"> ・何か怪しいなと思ったら消費生活センターや警察などにすぐ相談する。 ・何か怪しいなと思ったらすぐに電話を切る。 ・うそ電話サギ撃退装置を電話に取り付ける。 ・相談しやすい人を見つけておく。 ・怪しい電話がかかってきたことを家族や友人と共有するなど、日頃から情報交換を行う。 〕 6 講座の振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近くの人と話し合わせる。 ○ 受講者の口から、今後気をつけるべきことを引き出し、印象付けさせる。また、防犯グッズも紹介する。 ○ うそ電話サギ撃退装置：警告メッセージと録音機能により被害を未然に防ぐことができる。警告メッセージ例「この電話は、振り込め詐欺などの犯罪被害防止のため、会話内容が自動録音されます。これから呼び出しますので、このままお待ちください。」 ○ 今日の学びを、家族や身近な友人など他の人にも話すことで、より多くの人々が被害に遭いにくくなり、人に伝えることで自分の知識もより定着するということを伝え、内容のまとめのプリントを配布する。